

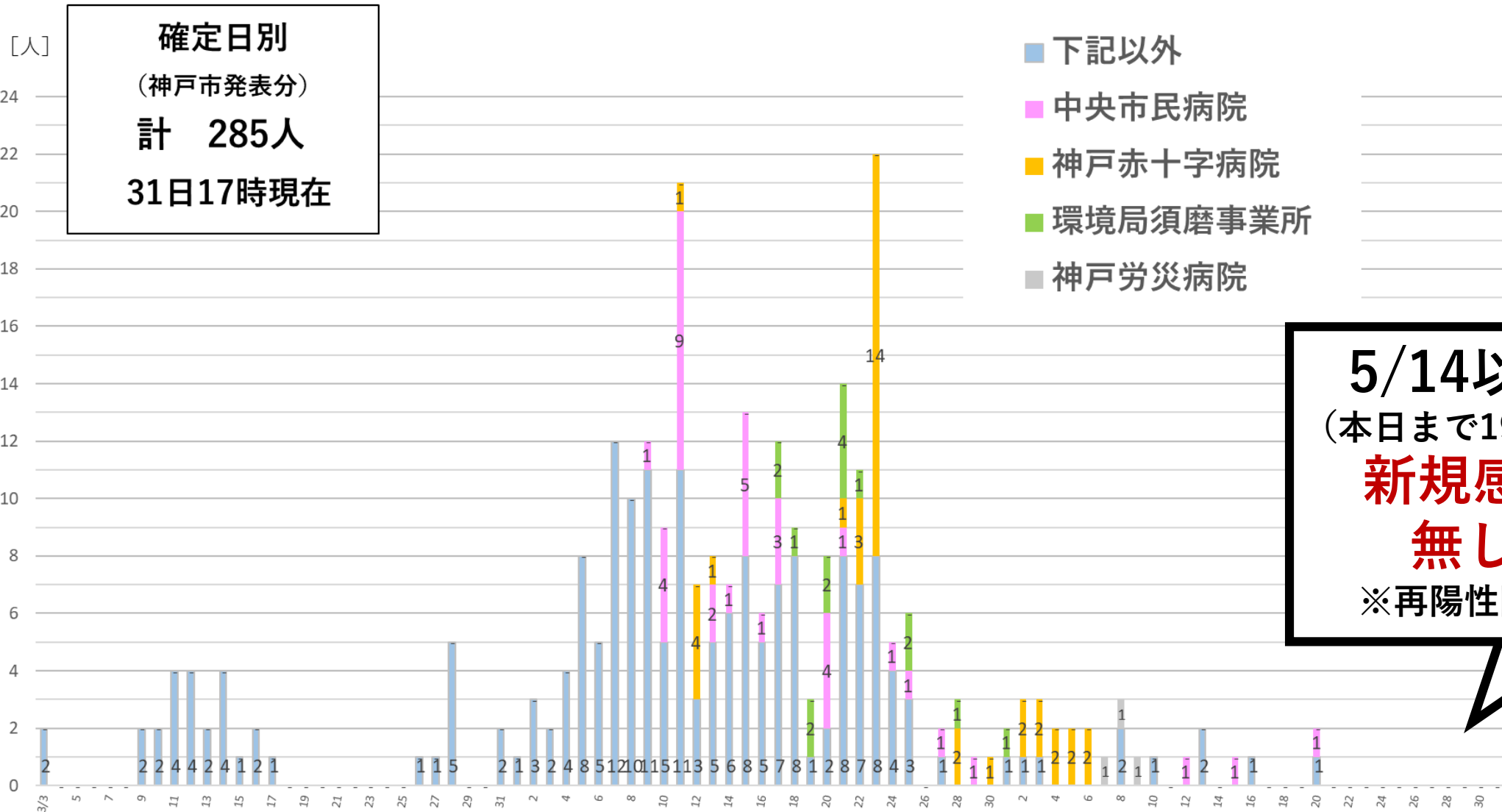
感染警戒期における
戦略的サーベイランスの
実施について

サーベイランス

患者の発生情報を統一的な手法で持続的に収集・分析し
得られた情報を疾病の予防と対策のために迅速に還元するもの

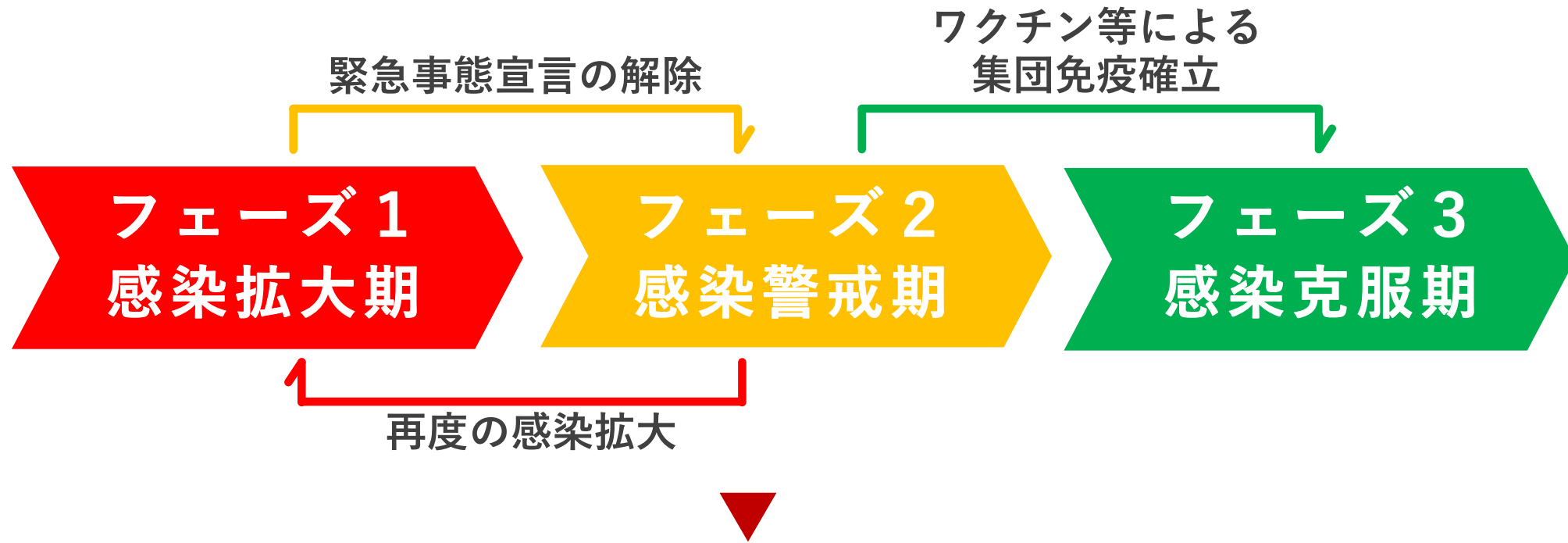
2020年6月1日 臨時会見

市内の感染者発生状況



5/14以降
(本日まで19日間)
新規感染
無し
※再陽性除く

緊急事態宣言の解除と感染拡大への警戒



フェーズ2においては感染拡大の兆しを
早期に把握することが特に必要

サーベイランスの重要性と課題

市内PCR検査
新規検査数の推移



ピーク [5/1] **142** 件
約**8割**減少 ▼
直近1週間平均 **31** 件

季節的に
発熱等の
かぜ症状を
有する人の
数が減少



医師が
PCR検査を
必要とする
人の数が
減少



感染の
まん延
状況が
見えにくく
なるおそれ



新たな
感染拡大の兆し
を早期に把握
することが必要

戦略的サーベイランスの実施

感染警戒期における市内の感染状況把握には、

戦略的サーベイランスの実施

[現在と過去の両方を確認できるサーベイランス] が必要

戦略的サーベイランスの実施

- 1 | PCR検査を活用した発生動向調査
[重症化、院内感染予防のための積極的PCR検査]
- 2 | 抗体保有状況に関する調査
- 3 | 抗原検査の積極的活用

PCR検査、抗体検査、抗原検査の違い

	PCR検査	抗原検査	抗体検査
調べるもの	ウイルスに特徴的な 遺伝子配列	ウイルスに特徴的な タンパク質	ウイルスに感染後 体内に出来る抗体
分かること	現在感染しているかどうか		過去に感染したかどうか
検体の採取	鼻や喉の奥の粘膜	鼻や喉の奥の粘膜	血液
判定時間	4～6時間	15～30分	約15分

各検査で判別できることとその時期の違い（イメージ）



PCR検査を活用した発生動向調査

[重症化、院内感染予防のための積極的PCR検査]

重症化、院内感染予防のための積極的PCR検査を全市で実施

現在の検査対象者

- ▶ 37.5°C以上の発熱・呼吸器症状を有し、入院を要する肺炎が疑われる場合
(特に高齢者又は基礎疾患があるものについては、積極的に考慮)
- ▶ 医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルス感染症を疑う場合 など

+

積極的にPCR検査を実施

- ▶ 救急外来を受診する方
- ▶ 手術を受ける方
- ▶ 分娩を行う妊婦の方

上記に該当する方で症状や基礎疾患があるなど医師が必要と判断した場合

※ご本人の希望で実施するものではありません

1,800人/月程度

神戸市立医療センター中央市民病院における 抗体調査研究

[令和2年4月26日発表済]

概要

臨床研究として中央市民病院が独自で実施

調査方法

中央市民病院の外来を受診した患者から採取した血液サンプルの残余を用いて、感染後体内に形成される抗体を測定

調査規模

1,000 検体

調査期間

令和2年3月31日～4月7日

結果概要

陽性率3.3%

市と病院の共同による抗体調査の実施

	今回調査	前回研究 [参考]
対象	一般外来患者 1,000 人の 採血残余検体	同左
抗体検査 キット	クラボウ社 Abbott社 [米国FDA承認]	クラボウ社
対象期間	研究倫理審査委員会承認日 ～6月15日 [緊急事態宣言後]	3月31日～4月7日 [緊急事態宣言前]
結果	6月下旬公表予定	IgG陽性率 3.3%

抗体保有状況に関する調査

前回
研究

今回調査

今後も定期的に実施

神戸市と中央市民病院
が共同で実施

(費用は神戸市が負担)

継続的な
サーベイランスが
可能

自治体初の取り組み

抗原検査の積極的活用



富士レビオ株式会社提供

抗原検査による迅速診断について、厚労省ガイドラインなどを踏まえ、**帰国者・接触者外来、救急外来等で積極的に活用。**

(市内の複数の医療機関で入荷済)

厚生労働省ガイドライン [令和2年5月13日] 抜粋

- ▶ 陽性の場合には、確定診断とすることができる。
- ▶ 陰性の場合には、確定診断のため、PCR検査を行う必要がある。

神戸市は緊急事態宣言解除後も、
感染状況や感染拡大の兆しの
早期把握に向けて
戦略的サーベイランスを実施し、
必要な警戒体制を維持します。